2 がんの治療について

Q. 治療にはどんな方法があるの？

A：外科手術、放射線治療、薬物療法、免疫療法などがあります。

標準治療

＼POINT!／

標準治療とは、科学的根拠（エビデンス）に基づき、**現時点で患者さんに最も効果が期待でき、安全性も確認された最善の治療**のことです。多くの場合、医師の勧める治療法は、この標準治療に基づいています。

手術治療

がんを外科的に切除します。内視鏡を使用することもあります。

放射線治療

がんに放射線を当てることにより、がんを消滅させたり、小さくしたりします。

薬物療法

薬を用いて治療を行います。薬の種類は、細胞障害性抗がん薬（いわゆる抗がん剤）、分子標的薬、ホルモン薬などがあります。

免疫療法

免疫の力を利用して、がんを攻撃する治療法です。

免疫療法には、効果が証明されているものとされていないものがあります。効果が証明されているものには、①免疫チェックポイント阻害薬　②その他の免疫療法があります。免疫チェックポイント阻害薬は薬による治療なので、薬物療法でもあります。

緩和ケア

がんと診断された時から、身体的・精神的・社会的・スピリチュアル（苦悩や不安、恐怖など）な苦痛やつらさを和らげる医療やケアを行うことです。

☑ がん情報サービス　**診断と治療**

TOPICS

がんゲノム医療

がんの治療では、遺伝子情報に基づく個別化治療が始まっています。「個別化治療」には、主に1つまたは少数の遺伝子を調べる「がん遺伝子検査」と、多数の遺伝子を同時に調べる「がん遺伝子パネル検査」に基づいて行われます。

現在、県内では大分大学医学部附属病院、大分県立病院、中津市民病院が「がんゲノム医療連携病院」として指定されています。

☑ がん情報サービス
がんゲノム医療

Q. 病気や治療の情報は、どうやって集めたらいい？

A：信頼できる相談先から情報を得ましょう

まずは、主治医や医療スタッフとよく話し、自分の状態を正確に把握しましょう。あなたの病気について、最も多くの情報を持っています。

そのうえで、もっと詳しいことを知りたいと思ったときは、自分でも調べてみましょう。情報を得ることで、不安が軽減したり、その情報が判断材料となることがあります。

●●●● 情報を探すときの5つのポイント ●●●●

①今、必要な情報は何か、考える

メモに書き出すことで、頭の中の整理につながり、人に伝えることのきっかけとなります。

②インターネットを利用する

たくさんの情報を簡単に入手できます。

③がん相談支援センターを利用する

相談員と話すことで情報の探し方や入手先を聞いたり、問題が整理できる場合もあります。

④信頼できる情報か、考える

情報の発信元の信頼性や、その情報が自分に当てはまるものなのかを見極めることが大切です。

⑤行動する前に、周囲の意見を聞く

得た情報をもとに行動する前に、主治医や家族などに意見を求めましょう。行動の判断の助けになります。

下記のサイトは情報の信頼性が高く、インターネットを利用する際におすすめです。

☑ 国立がん研究センター **がん情報サービス**

☑ **日本対がん協会**

Q. 医療スタッフにどんなことを相談したらいい？

A：病気や治療のことを主治医や看護師とよく話してみましょう

　がんと診断されて、これからどんな治療が始まるか、今までどおりの生活ができるかなど、心配や困っていること、相談したいことがたくさんあると思います。主治医や看護師などの医療スタッフに、気持ちを率直に伝えてみましょう。

POINT!

●●●● 説明を受けるときのポイント ●●●●

● 説明前に準備すること

- 気になること、わからないことを**書き出す**
- 書き出した内容を整理し、優先順位をつける
- 質問することをメモにまとめる

● 説明のとき

- 説明がわからない時は、**その場で確認**する
- あとで確認できるようにメモを取る
- わからないことが出てきたら、看護師やがん相談支援センターに聞く

TOPICS

人生会議

　「人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）」とは、もしものときのために、自らが望む医療やケアについて前もって考え、家族等の信頼できる人や医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有する取組のことです。

　「人生会議 記録シート」を使って、あなたの希望する医療・ケアについて周囲の信頼する人と話し合ってみませんか？

☑ 大分県医療政策課　**人生会議**

Q. セカンドオピニオンとは？

患者さんが納得のいく治療方法を選択することができるように、治療の進行状況や次の段階の治療選択などについて、現在診療を受けている主治医とは別の医療機関の医師に「第2の意見」を求めることです。

セカンドオピニオンは、現在の主治医のもとで治療を受けることを前提に利用するものです。

セカンドオピニオンを受ける場合は、ひとりで行くよりもあなたをサポートしてくれる方と一緒に行くことをお勧めします。

セカンドオピニオンを受けたいという希望を主治医に伝え、紹介の準備をしてもらいましょう。

セカンドオピニオンの費用

セカンドオピニオンは**自由診療**です。

料金や申込方法は医療機関によって異なりますので、事前に確認することをお勧めします。

がん診療連携拠点病院等のセカンドオピニオンについて、提示体制を知ることができます。

☑ **大分県がん診療連携協議会**
（がん診療連携拠点病院のセカンドオピニオン提示体制）